

出先機関において、スリムな体制を維持しながら、多様化・複雑化する現場のニーズへの対応・政策への反映、公共施設の魅力向上を継続する必要

主な出先機関・配置状況		取組実績		今後の課題
行政機関	<b>健福、農林、土木事務所／県税事務所</b> ・福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭の6地区に事務所を配置。一部、分庁舎設置 ・県税は福井地区、若狭地区に事務所設置。残り4地区に県税相談室を設置  <b>単独事務所</b> 同種の事務所を嶺北、嶺南に各1か所設置するなど業務の効率性、県民利便性を考慮して配置  <b>生活・安全分野</b> 消費生活センター（福井市、小浜市）等  <b>医療・福祉分野</b> 総合福祉相談所（福井市）、敦賀児童相談所（敦賀市）等  <b>産業・労働分野</b> 産業技術専門学院（福井市、敦賀市）等  <b>農林水産分野</b> 家畜保健衛生所（福井市、若狭町）等	<b>○ 窓口サービスの向上</b> ・健康福祉センターにおいて、申請者（難病医療費助成申請、毎年申請）の利便性を高めるため、申請期間中に夜間、休日開館（H27） 計186人利用  <b>○ 組織統合によるサービスの一元化、機能向上</b> ・精神保健福祉センターを総合福祉相談所に統合し、精神、障害、児童、女性に関する相談業務を一元化（H26） 児童虐待やDVの背景として、配偶者や家族などに精神的問題があるケースが増加していること等、複合的な事案の相談への対応充実  <b>○ 現場近くへの事務所開設</b> ・住民への説明、相談等により迅速に対応するため、地元に近い場所に新幹線用地事務所を新設（H26,H27） 福井用地事務所（県庁内）、坂井用地事務所（坂井市役所内）、丹南・敦賀用地事務所（丹南合庁内）の3事務所を開設		<b>サービスの質の向上</b> ・窓口時間の延長、身近な場所での窓口開設 ・ITを活用した画像や動画による説明 等  <b>庁舎の老朽化への対応</b> ・県民等の利用頻度、施設間の距離、業務内容等を考慮した上、施設の老朽化に対応して事務所移転・組織統合等を実施 （例）三国土木事務所を坂井合同庁舎内の空きスペースに移設（H28 予定） 等  <b>現場の声の政策への反映</b> ・少子高齢化の進展に伴う福祉施設における利用者・施設側のニーズ変化 ・園芸、特産作物等の産地づくりを進める上での農業現場の技術課題の把握 等
	<b>公共施設</b> （文化施設等）  指定管理施設 含む	<b>同種施設を嶺北、嶺南に設置</b> 図書館（福井地区、福井市） 若狭図書学習センター（若狭地区、小浜市） 歴史博物館（福井地区、福井市） 若狭歴史博物館（若狭地区、小浜市） 児童科学館（坂井地区、坂井市） こども家族館（若狭地区、おおい町）  <b>地域資源を活かす施設を、地元を設置</b> 一乗谷朝倉氏遺跡資料館（福井地区、福井市） 恐竜博物館（奥越地区、勝山市） 陶芸館（丹南地区、越前町）  <b>県都に設置</b> 美術館（福井地区、福井市） 音楽堂（福井地区、福井市） こども歴史文化館（福井地区、福井市）	<b>入館者（H26）</b> 473千人 153千人 91千人 ※49千人（7～3月） 572千人 275千人  57千人 709千人 57千人  240千人 211千人 53千人	<b>主な実績（H26）</b> ・読み聞かせ会開催、特集コーナー設置等、毎月、企画事業実施 ・ふるさと文学館 2/1 開館  ・企画展「越前に由利公正ありー龍馬の手紙に記された三岡八郎とは」 ・7/18 リニューアル 記念展「華々しい若狭の歴史」 ・サイエンスショー、クラフト教室等において、企画事業を開催 ・ものづくり工房、クッキング工房等において、企画事業を実施  ・企画展「戦国時代の金とガラス」200点以上の資料を初公開 ・企画展「スペイン 奇跡の恐竜たち」 スペインでも未公開の世界初公開の化石を展示 ・野外恐竜博物館 7/19 開館 ・特別展「岡本太郎のやきもの」  ・企画展「ゴッホの原点 オランダ風景画展」 ゴッホに強い影響を与えたハーグ派を主題的に紹介 日本初 ・ふるさと知事NW 交流展「東山魁夷と信州ゆかりの作家たち」 ・音楽祭、コンサート等の自主公演等を開催 ・特別展「翻訳のチカラ」杉田玄白『解体新書』発刊240年記念